

2022年度の主な実施項目と2023年度の目標・計画

| 大項目                    | 小項目   | 2022年度の目標・計画  | 2022年度の主な実施項目  | 目標(数値)                 | 結果(数値)                 | 評価  | 2023年度の目標・計画   |
|------------------------|---|---|--|------------------------|------------------------|---|--|
| 組織統治                   | CSRマネジメント   | ・実効のあるCSR推進会議の継続  | ・コロナによる活動停滞からの今後の活動方向の見直し<br>・2021年度年間活動実績及び2022年度活動目標報告<br>・2022年上期活動実績報告   |                        |                        | △   | ・実効のあるサステナビリティ活動の推進  |
|                        | コーポレート・ガバナンス(内部統制)  | ・意思決定プロセスの定期的確認と必要に応じた見直し   | ・(TISS)権限基準改定など  |                        |                        | ○   | ・意思決定プロセスの定期的確認と必要に応じた見直し  |
|                        |   | ・内部監査計画の完遂と是正の計画的推進   | ・計画：12部署 実行：10部署 改善：13件を指摘した。処置済み：8件。  |                        |                        | ○   | ・内部監査計画の完遂と是正の計画的推進  |
|                        | ステークホルダーとの対話  | ・TeamSurveyの実施、TeamSurveyフィードバックの実施<br>・経営幹部による従業員との直接コミュニケーション実施   | ・自律的な内部統制強化活動の実施(内部統制再構築会議 6回)<br>・RAPSの実施<br>・RMS(リスク評価結果 改善の取組み完了)   |                        |                        | ○   | ・東芝監査プログラム実施(RAP・J-SOX等)<br>・内部統制再構築PJの継続  |
| 人権                     | ・人権教育の継続実施(採用時、転入受入時、人権週間)  | ・2021年度TeamSurvey全社集計の公開(4月) / アクションプラン登録・実施(3~4月)<br>・2022年度TeamSurveyの実施(12月)<br>・2022年度TeamSurveyフィードバックの実施(1月~3月)   |  |                        | △                      | ・TeamSurveyの実施、TeamSurveyフィードバックの実施   |  |
| 労働慣行                   | 雇用の安定   | ・高齢者活用施策の実施   | ・入社時の導入教育：13回65名に実施  |                        |                        | ○   | ・人権教育の継続実施(採用時、転入受入時、人権週間、管理職研修時)  |
|                        | 多様性の尊重  | ・障がい者雇用率(2.5%以上)の達成   | ・60才定年後再雇用者18名   |                        |                        | ○   | ・高齢者活用施策の実施  |
|                        | 多様な働き方の支援   | ・働き方改革への対応<br>・育児・介護休業制度、短時間勤務制度が取得しやすい環境づくりの推進<br>・長時間労働の削減  | ・障がい者雇用率4.19%(2022年6月1日時点)   | 障がい者雇用率2.5%以上          | 4.19%                  | ○   | ・障がい者雇用率(2.3%以上)の維持  |
|                        | 人財育成  | ・若手社員の計画的な育成の推進<br>・当社に必要な実務知識に関する教育の推進<br>・中長期計画に基づく社内ローテーションの推進   | ・短時間勤務制度(3名取得)<br>・育児休業制度(3名取得)  |                        |                        | ○   | ・働き方改革への対応<br>・育児(育児休業)・介護休業制度、短時間勤務制度が取得しやすい環境づくりの推進、ハイブリッド勤務の推進<br>・長時間労働の削減   |
| 従業員の安全と健康              | ・ISO45001更新審査<br>・経営幹部による安全巡回の実施<br>・10/6(TESC)安全の日 制定行事<br>・健康診断の完全受診継続(100%)と働き方改革の促進<br>・安全健康教育の充実(5回以上)<br>・メンタルヘルス並びにストレスチェックの充実<br>・リスクアセスメントによる職場改善の促進 | ・2022年度教育委員会開催：10月<br>・2022年7月資格昇格者19名を(HRD)階層別教育に派遣<br>・正規登用者20名をキャリア(CEP)教育に派遣  |  |                        |                        | ○   | ・若手社員の計画的な育成の推進<br>・当社に必要な実務知識に関する教育の推進<br>・中長期計画に基づく社内ローテーションの推進  |
|                        |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ISO45001認証更新審査合格(OHSM拡大)</li> <li>◆災害発生状況 <ul style="list-style-type: none"> <li>◆上期(不労災害1件、下請業者不労災害1件) 下期(不労災害1件、火災事故1件)</li> <li>◆重大災害防止の取り組み</li> <li>◆体動センサーを構築(研究開発安全体制、新規設備導入時安全確認)運用開始</li> <li>◆経営幹部による安全巡回の実施</li> <li>◆安全管理者選任研修、職長教育の義務化</li> <li>◆安全意識高揚の取り組み</li> <li>◆全従業員への理解度テストとアンケート実施</li> <li>◆10/6(TESC)安全の日実施による風化防止と安全意識高揚</li> <li>◆安全健康関係の会社規程体系の見直し</li> <li>◆作業環境の改善 <ul style="list-style-type: none"> <li>◆熱中症予防として暑熱対策及び冬季防寒対策を実施</li> <li>◆コロナ対策として光触媒装置：東芝ライテック社製「UVish(ユービッシュ)」導入</li> <li>◆リスクアセスメントの継続的改善</li> <li>◆労働安全衛生リスクアセスメント実施規程の会社規程移行とリスクアセスメントフィードバック実施</li> <li>◆自主的健康活動の実践</li> <li>◆運動習慣への行動変革のきっかけとなる施策としてウォーキングイベントを実施</li> <li>◆順法対応</li> <li>◆道交法改正にともなうアルコールチェック実施とアルコールチェッカー支給(100個配布)</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul> | 健康診断<br>100%受診   | 100%受診                 | ○                      | ・ISO45001 1年次サーベイランス<br>・リスクアセスメントによる安全な職場づくり促進<br>・安全健康教育の充実<br>・新健康システム活用による健康支援促進<br>・自律的健康活動の促進 |  |
| 環境                     | 環境マネジメント強化  | ・環境汚染の予防(環境構造物指針準拠率100%確保、<br>・統合MSの定着化と継続的改善<br>・ステークホルダーとの交流<br>・環境保全活動の公表  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境汚染の予防 <ul style="list-style-type: none"> <li>○環境構造物指針対象施設の準拠率100%確保</li> <li>○部門別環境法令教育実施</li> <li>○顧客評価を実施(1件法令違反有り)</li> <li>◆統合MSの定着化と継続的改善</li> <li>○統合MSサーベイランスを受審し、評価は「向上」</li> <li>○内部監査を実施、結果は、不適合なし、是正を求める観察10件、改善を推奨する提案15件あり</li> <li>○ステークホルダーとの交流</li> <li>○Web工場見学の配信(継続) ○本社構外清掃実施</li> </ul> </li> </ul>   | 環境構造物<br>指針準拠率<br>100% | 環境構造物<br>指針準拠率<br>100% | ○   | ・環境汚染の予防(環境構造物指針準拠率100%確保)<br>・コンプライアンス順守(現地確認による産廃業者管理含む)<br>・統合MSの継続的改善<br>・地域に根ざした環境活動取組の検討<br>・環境保全活動の公表                     |
|                        | 環境に配慮した事業プロセス   | ・資源の有効活用・再資源化率81%以上<br>・エネルギーの効率的な使用の推進<br>(エネルギー起源CO2排出量原単位61.9t-CO2/千t以下)   | ・資源有効活用：再資源化率86.9%<br>・エネルギーの効率的な使用の推進：エネルギー起源CO2排出量原単位56.2t-CO2/千t以下  | 再資源化率<br>84%以上         | 再資源化率<br>86.9%         | ○   | ・資源の有効活用：再資源化率83%以上<br>・エネルギーの効率的な使用の推進  |
|                        | 環境コミュニケーション   | ・CSRレポートおよびホームページの充実<br>・展示会出展等の継続<br>・マスメディアを通じた環境広告および広報の継続   | ・サステナビリティレポート…2022年版発行なし<br>・展示会出展…実績なし<br>・マスメディアを通じた環境広告…実績なし  |                        |                        | ×   | ・サステナビリティ取組内容の社外HPでの公開(8月更新)<br>・マスメディアを通じた環境広告および広報の継続  |
| 公正な事業慣行                | リスク・コンプライアンス  | ・年度リスク・コンプライアンス施策の立案と実行<br>・CSR職場ミーティングの実施<br>・リスク・コンプライアンス関連e-learning教育の実施  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・2022年度リスク・コンプライアンス施策決定(5月)</li> <li>・「憲法」基礎教育実施(消防法、高圧ガス保安法、R1規制法)：59名</li> <li>・コンプライアンス職場ミーティング実施(12月~1月)：475名(100%)参加</li> <li>・コンプライアンス関連e-learning <ul style="list-style-type: none"> <li>○東芝グループ理念体系・行動基準教育：458名(5~6月)○会計</li> <li>○外為コンプライアンス教育および通関開示教育：459名(8~9月)</li> <li>○お客様満足向上教育および技術倫理教育：466名(10~11月)</li> <li>○情報の適切な管理に関する教育および製品セキュリティ教育：468名(11~12月)</li> <li>○重要法令教育(営業リスク・下請法・輸出管理・電安法)：465名(1~2月)</li> </ul> </li> </ul>   |                        |                        | ○   | ・年度リスク・コンプライアンス施策の立案と実行<br>・CSR職場ミーティングの実施<br>・リスク・コンプライアンス関連e-learning教育の実施   |
|                        | 公正な競争・取引の徹底   | ・購買請求部門教育巡回実施：10部門<br>・現地確認 10社   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・購買請求部門教育…7部門</li> <li>・現地確認…4社(調達)</li> <li>・「調達発注における留意事項」教育：2回</li> <li>公正な競争・取引を実現するための調達教育として、部門の事業スキームに沿った調達取引のポイントや留意事項を実取引に基づき教育を行った。また、下期には管理職メンバーに対して、管理職として徹底して欲しい調達取引の留意ポイントについて教育を行った。結果、適切な調達取引をするという意識が高まり、「調達」への問い合わせも増えた。</li> </ul>   | 教育巡回10部門               | 70%                    | ○   | ・購買請求部門教育巡回実施：10部門   |
|                        | サプライチェーンでのCSR推進   | ・取引先訪問4社<br>・取引先管理方法改善(新規取引、継続取引)   | 取引先訪問：0社<br>取引先管理方法改善： <ul style="list-style-type: none"> <li>・適切な調達取引実現性確認のためのモニタリングと懸念事項の是正(継続中)</li> <li>・グループ調達部門による取引先における環境経営調査の支援(取引先への個別問合せ対応)</li> </ul>  | 目標変更                   | 訪問取止め                  | 評価外   | ・東芝グループ共通のサプライチェーンにおけるCSR推進策の実施<br>・東芝グループグリーン調達方針に基づく取引先への問合せと回答収集  |
|                        | 情報の保護・管理  | ・情報セキュリティ教育の実施<br>・情報セキュリティ自主監査の実施<br>・サーバ、社外ホームページのセキュリティの実施<br>・携帯型記憶媒体及びモバイル用パソコンの管理<br>・ウイルス感染予防訓練の実施   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・新入社員への情報セキュリティ教育を上期23名、下期13名に実施。</li> <li>・情報の適切な管理に関する教育および製品セキュリティ教育は12月に468名全員受講済。</li> <li>・情報セキュリティ管理の実地確認は、コロナ禍により拠点訪問は中止。</li> <li>・情報セキュリティ管理・個人情報保護 自主監査を11月に実施し、問題なし。</li> <li>・従来 持ち出しパソコンの半半に1度の棚卸だったが、7月より全パソコンを毎月棚卸に切り替え、継続運用中。</li> <li>・携帯型記憶媒体の棚卸を9月・3月に実施し問題なし。</li> <li>・社外ホームページセキュリティ診断を6月・1月に実施し問題なし。</li> <li>・サーバのセキュリティ診断を毎月実施し問題なし。</li> <li>・ウイルス感染予防訓練を7月・3月に実施。メールにて対象リンクをクリックしてしまった人に向け、教育を実施。7月対象者は全員受講済。3月対象者は4月以降実施予定。</li> <li>・9月に 毎月全部門からIT推進の代表が参加して開催しているIT推進担当連絡会にて、「会社規程4-6-3 情報機器のセキュリティ対策実施規程」の徹底をあらためて説明・依頼。</li> </ul> |                        |                        | ○   | ・情報セキュリティ教育の実施<br>・情報セキュリティ自主監査の実施<br>・情報セキュリティ管理の実地確認の実施<br>・サーバ、社外ホームページのセキュリティの実施<br>・携帯型記憶媒体及びモバイル用パソコンの管理<br>・ウイルス感染予防訓練の実施 |
| 知的財産の保護                | ・戦略的特許の造出と特許権利化の推進  | ・戦略的特許・商標の創出：特許査定、特許出願、商標登録<br>・権利化の推進：特許権利維持、特許審査請求  |  |                        |                        | ○   | ・戦略的特許の造出と特許権利化の推進   |
| お客様への対応(消費者課題)         | 製品・サービスの品質向上と安全性の確保   | ・統合マネジメントシステムの継続的改善   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・統合MS(環境・品質・労働安全衛生)審査結果：「合格(更新)」。(深)拡大</li> <li>・統合マネジメントマニュアル改定(10/1、4/1付)、他 下位規程制定1件</li> <li>・3MS内部監査員資格未認定者の監査チームオブザーバー参加継続</li> </ul>  |                        |                        | ○   | ・統合マネジメントシステムの継続的改善  |
|                        | 製品事故・不具合発生時の対応  | ・損失費の把握及び改善策の実施   | ・損失費の全部門実績把握(事故費・仕損費)  |                        |                        | ○   | ・損失費の把握及び改善策の実施  |
|                        | お客様満足度の向上   | ・顧客とのコミュニケーションの向上<br>・顧客満足度向上策の検討及び実施   | ・不適合事案2件発生、1件継続は正中   |                        |                        | ○   | ・顧客とのコミュニケーションの向上<br>・顧客満足度向上策の検討及び実施  |
| コミュニティへの参画およびコミュニティの発展 | 社会貢献活動  | ・東芝グループボランティアデイズに対応した施策の実施<br>・地域清掃活動<br>・工場見学受入  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・一斉5S活動日に工場周辺の清掃を実施(雨天中止時以外は毎月実施)</li> <li>・Web工場見学社外公開を継続</li> <li>・東芝グループボランティアデイズ活動(12月) <ul style="list-style-type: none"> <li>○ペットボトルキャップ総重量39.6kg、使用済み切手総重量351gを収集寄贈</li> <li>○食堂にて東北復興支援メニューを提供</li> </ul> </li> </ul>   |                        |                        | ○   | ・東芝グループボランティアデイズに対応した施策の実施<br>・地域清掃活動  |
|                        | 地域社会との関わり   | ・近隣住民との交流継続(年1回)<br>・地域主催行事への協力(年2回)<br>・地域団体への参加(防火、交通安全、安全衛生等)  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会福祉協議会への賛助金費(7月)</li> <li>・(中止：町内会対象施設見学会、湖田神社例大祭、寛政安善町内会益誦り大会)</li> <li>・「第61回 北上・みちのく芸術まつり」に協賛</li> <li>・茨城事業所の駐車場を子供ランパークスポーツ練習場として無償貸出</li> <li>・横浜市長権限イベント(こども『エコ活』大作戦2022)事業に協賛</li> <li>・第32回つるみ臨海フェスティバルに協賛</li> </ul>  |                        |                        | 評価外   | ・近隣住民との交流継続(年1回)<br>・地域主催行事への協力(年2回)<br>・地域団体への参加(防火、交通安全、安全衛生等)   |